

令和 7 年 2 月 20 日

豊丘村議会議員 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員

武田 篤子

一般質問通告書

次の通り通告します。

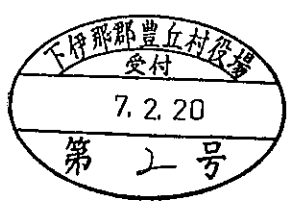
No. 1

質問事項	質問の要旨	質問相手
1 消費者行政について ⑦提言	(1) 長野県議会は、11 月県会で、消費生活センターの集約条例案を決定し、県内に 4 箇所ある消費生活センターが令和 7 年度より、松本市のセンターに集約されます。 それに伴って、村の 12 月議会で、「定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定について」の議題が提出され、可決されました。来月 4 月より、定住自立圏構想の枠組みとして消費生活相談の広域的な対応が行われます。 そこで、変更に伴う消費者行政について伺いたいと思います。 ①4 月から、消費者センターの機能がどのように変わるのか。広域化の概要について伺う。 ②各町村に運営費用の負担が発生するわけですが、その、按分内容、金額について伺う。 ③令和 3 から 5 年度の平均相談件数ということですが、豊丘では、消費生活センターへ何件位、相談されていたのか。また、役場の方への相談は、年間どの位あったのかについて伺う。 ④平成 21 年に制定された消費者安全法第 10 条第 2 項の規定により、努力義務として消費生活センターを設置することが市町村に求められていました。現在、村には、消費生活センターにあたるものがあるのか。どの部署で対応しているのかについて伺う。 ⑤現在、村民への消費者啓発や、学校での教育についてどのように行なわれているのかについて伺う。 ⑥4 月からの新体制になることにより、消費者教育、広報啓発業務は各市町村が行うということになるよ	産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長 教育長 産業振興課長

	うですが、相談業務等も含め、村として今後どのように、消費者行政を推進していくのかについて伺う。 ⑦「詐欺から村民の大事な財産を守る相談場所」と考えるのならば、庁舎内にもっと目立つ看板を掲げて、不安に思ったときに、身近で相談できる窓口を作っているのではないかと思います。住民の相談に助言できるように、担当者だけではなく、大勢の職員の教育についても、考えてほしい。 また住民への広報についても、詐欺の手口を学んだり、最新の情報を提供したり、5月の消費者月間に合わせて啓発活動を行ってほしい。 ⑧上記についての考えを伺う。	産業振興課長
2 带状疱疹ワクチン定期接種について ④ ⑥ 提言	(2) 昨年12月、令和7年度から65歳の高齢者を対象に带状疱疹ワクチンが定期接種になることを、厚生労働省が決定しました。 そこで、その定期接種について伺いたいと思います。 ①4月からの带状疱疹ワクチンの定期接種についてどのように行っていくのか。対象者について、また経過措置について、また人数について伺う。 ②定期接種ワクチンについてどちらを接種予定として計画しているのか。また、公費補助についての詳細を伺う。 ③肺炎球菌ワクチンについては、1回目のみ補助対象ということのようだが、この带状疱疹ワクチンについてはどのように考えているのか伺う。 ④2016年3月から50歳以上を対象に带状疱疹ワクチン接種が可能になっている。希望する方がいる場合、村として対象年齢以外の方についても補助金をだし、ワクチン接種をしていただきたい。 ⑤その事についての考えを伺う。 ⑥带状疱疹ワクチン定期接種化についての広報を村民に行う際に、わかりやすい带状疱疹のチェックリストや、後遺症を少なくするための医療機関への受診のタイミング、予防する方法などについても広報していただきたい。 ⑦上記についての考えを伺う。	健康福祉課長 健康福祉課長 健康福祉課長 村長 健康福祉課長

令和 7 年 2 月 20 日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様



豊丘村議会議員

壬生 真由美

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 天災の発生確率について	東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）から 14 年、能登半島地震から 1 年、阪神淡路大震災をもたらした兵庫県南部地震をはじめ、近年マグニチュード 7 クラスの地震が頻発しています。 （1）長野県では被害が甚大になると予想される 8 つの地震の地震動と被害想定が示され、当村においては伊那谷断層帯地震と南海トラフ巨大地震による被害想定が大きいとされています。 広報とよおか 1 月号で村長の年頭あいさつの中で、南海トラフ巨大地震や火山災害との関係に触れられ、「豊丘村のある伊那谷は、防ぎようのない天災の発生確率はかなり低く、安全性も兼ね備えているといえます。」されています。村長が内外で発信される「地震が少ない安全な豊丘村」の根拠は何か。また、今後と同様な発信をされるのか伺います。	村長
2. 耐震化について	地震は自然現象で、地震による被害を震災と言います。地震を震災にしないために、村では、豊丘村耐震改修促進計画が策定され、今年度は第Ⅲ期 5 年計画の 4 年目にあたります。耐震化の現状と今後の取り組みについて伺います。 （1）耐震化とは。過去の震災被害を踏まえ建築基準法の耐震基準が改正されてきました。新旧耐震基準の違い、耐震基準を守る＝耐震化でどこまで安全になるか、耐震化の必要性について伺います。 （2）避難所は安全でしょうか。村有の災害拠点施設、その他防災マップに掲載されている村指定避難	建設環境課長 建設環境課長

質問事項	質問の要旨	質問相手
	場所(屋内施設)について耐震診断が必要な施設の耐震改修の実施状況を伺います。 また、村営住宅の耐震性についても伺います。 (3)住宅の耐震化を促進するため、村では補助事業として診断士による耐震診断事業と耐震改修補助事業があります。これらの補助事業を活用して住宅の耐震化に取り組む際の手続き、スケジュールなど具体的な改修内容を踏まえた事例を伺いたい。 (4)村では耐震改修促進計画に基づき「住宅耐震化緊急促進アクションプラン」が策定されていますが、これまでの目標と現状の成果を伺います。 (5)耐震化の対象となる旧耐震基準の住宅は既に築40年以上経過しており、建て替えることで耐震化率は上昇します。一方で、対象となる住宅は高齢者世帯が多く、要配慮者でもあり、住み慣れた家でいつまでも暮らせることが健康寿命を延ばすことにもなります。いかに耐震改修の必要性を周知し、耐震改修を勧めるかが重要です。具体的な取り組みを伺います。 (6)耐震診断の補助対象は耐震改修を前提とした精密診断ですが、その前段に実施する一般診断は耐震化改修のはじめの一步でもあります。国の制度には無いが、一般診断にも助成することで住宅リフォーム計画と一緒に耐震化にも取り組みやすくなると思うがいかがか。	建設環境課長 建設環境課長 建設環境課長 建設環境課長
3.避難所について	(1)防災マップには指定避難場所の収容人数が記載されています。それによると、道の駅は30人とされています。年間100万人が訪れる道の駅ですが、地震の際に観光客が避難することを想定していますか。観光客の安全確保について、災害時の対応などの想定や訓練などについて伺います。 (2)土砂災害などで道路が寸断される恐れのある山間地区では、非常食の分散配備は必要です。7年度は非常食をどのように配備されるのか伺います。	産業振興課長 総務課長



令和7年2月20日

豊丘村議会議長 片桐 忠彦 様

豊丘村議会議員 堀本 丈文 

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

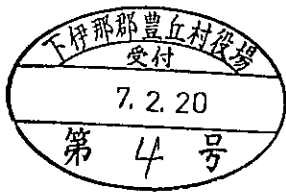
1/2

質問事項	質問の要旨	質問相手
1.豊丘村の 下水道管の 状況調査と 補修工事に ついて	1月28日、埼玉県八潮市の県道交差点において、下水道管の損傷によるものと思われる道路陥没によりトラックの転落事故が発生し、現在も復旧はおろか運転手の救助にも至っておりません。早急な対応と復旧を願っています。	
	豊丘村下水道については、昭和62年度に認可を受けて整備を進め、共用を開始してからは25年程度が経過しています。	
	令和5年3月には「豊丘村下水道ストックマネジメント計画」が策定され、施設・管路を含めた更新計画について議会にも報告されており、将来に向けて安全な更新体制の下で下水道事業を進めていただいていると理解しております。	
	そこで、事業者である村にお聞きします。	
	(1)豊丘村の下水道管の口径、および材質はどのようなもの でしょうか。 ①最大口径と主管路の口径 ②管路の材質と耐用年数	建設環境課長
	(2)豊丘村でも埼玉県のような事故が発生するのでしょうか。	建設環境課長
	(3)「豊丘村ストックマネジメント計画」策定以前から、管路の点検および補修工事をしていたと思いますが、近年の実績を教えてください。	建設環境課長

2.豊丘村の水道水でのP F A S検出状況について	昨年深夜に、NHKの特集番組にて『あなたののまちの水道水は?』と題して再放送の番組が放送されていました。興味を持ち番組を視聴していたら、海外の研究で有毒性が指摘されている有機フッ素化合物「P F A S」が高濃度で検出された町があるというものでした。内容に衝撃を受けて、番組最後に「貴方の自治体は大丈夫ですか。」というような意味合いで、画面にQRコードが示され、各自でご確認くださいというものでした。 それでは、水道事業者である村にお聞きします。 (1)国では、昨年11/29付で全国の水道水の検出状況結果を公表したようですが、豊丘村の状況はどうですか。 (2)検出される原因は何といわれていますか。 (3)水道事業を管轄する県の所管課、または保健所からの指導はありましたか。 (4)豊丘村は、95%を地下水を水源とした水道水を配っています。今後、このような物質の混入を防ぐ対策を研究するようなお考えはありますか。	建設環境課長 建設環境課長 建設環境課長 建設環境課長
-----------------------------------	---	---

令和 7 年 2 月 20 日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様



豊丘村議会議員 前沢光昭

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

(1/2)

質問事項	質問の要旨	質問相手
1, 学校給食費無償・補聴器購入補助実現について	学校給食費については令和 4 年より、他市町村に先駆け 6 割補助が行われた。当初村長は積極的な姿勢を見せて、多くの小中学校保護者も期待を寄せた。しかしこの間、多くの県内市町村も無償化に一步踏み出した。その後も村長は積極的な発言もしているが、無償化にはいつ踏み出すのか伺う。 (1) 多くの保護者が無償化に期待しているが、ここまで踏み出さなかった理由は何か。今年度の年度途中からでも無償化に踏み出すべきではないか。 (2) 加齢性難聴者への補聴器の購入補助については令和元年、令和 3 年、5 年以来何度かこの質問を行ってきました。そのたびに「その必要性も考慮のうえ、周辺市町村も調査のうえ、前向きに検討したい」との答弁もされている。 この問題では「補聴器の補助はどうなっている?。早く補助に踏み出してほしい。期待している」と、住民からの声も寄せられる。 積極的答弁がありながら今まで購入補助に踏み出せない理由は何か、理由を伺う。 購入補助に踏み出すべきでないか。	村長 村長
2, PFAS 水質検査及び実態調査について	昨年国会でも PFAS (勇気フッ素化合物) が問題となり、全国の自治体での調査が行われることになった。PFAS とは工業生産で利用されたり、産業廃棄物処理場などからの廃棄などが確認されるなどされて追及されたもので、その実態は把握	

	されずに来た。地方自治体に調査が進められていると思う。PFASは発がん性が指摘される汚染物質、自然界で分解されることはなく「永遠の化学物質」とも言われている。 地方自治体への調査・指導が行われているか伺う。 (1)国・県からの指導・調査はあったのか。豊丘村内で工業生産関係で対象となるものはあるか。 ① 村内工業関係ではどうか。 ② 水質検査についてはどうか。	総務課長
--	---	------

令和7年2月20日

豊丘村議会議長 片桐忠彦様



豊丘村議会議員 唐澤 健



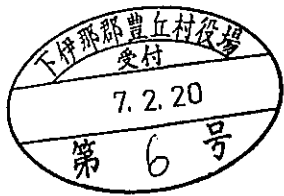
一般質問通告書

次の通り通告します。

NO.1

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 子どもの自殺といじめ防止について	(1) 子どもの自殺増(中日2月17日) 小中高生の自殺者数(暫定値)が2024年に527人となった。前年から14人増え、統計のある1980年以降で最も多い。小学生15人、中学生163人、高校生349人。男女別では、男性239人、女性288人で、女子中高生の増加が目立つ。 もし、子どもの生きづらさに気づいたら、電話やSNSの相談窓口があることも、大人から伝えてほしい。子どもの気持ちを否定せず、受け止められる社会の実現を、国を挙げて目指したい。 このような報道についての感想をお聞きしたい。	教育長
	(2) 大阪府寝屋川市における、「いじめゼロ」に向けたアプローチ 1) 市長部局監察課によるいじめ対応 ①いじめ通報促進チラシを小中学生に毎月一回配布 ②保護者の方からの通報も受け付ける。 ③メール、フリーダイヤル、市公式アプリ、LINEのリンクから受け付ける。 教育的な指導による人間関係の再構築を目的とした教育的アプローチと、いじめを人権問題として捉え、被害者と加害者の概念を用い、いじめを即時に停止させる行政的アプローチを確立させています。	教育長 総務課長
	2) 観察課のいじめ対応件数 令和3年度; 183件から年々増加し令和6年度(1月末現在) 441件 監察課の設置についての考えをお聞きする。 3) 2つのルート(教育的・行政的アプローチ)を“並走”させる意義 ①ダブルチェック ・第3者的視点でいじめ対応の不備をチェック ・第3者的視点で事後の検証を実施	教育長

質問事項	質問の要旨	質問相手
2. 吃音の早期発見・支援について	② 2つの選択肢を提示 ・ 目的の違う2つのルートを提示することで、相談者が望む形の解決を選択できる ・ 別のルートを確保することで、教職員等との問題にも対応可能 ③ 役割分担 ・ 教職員の負担軽減 ・ 専門的な対応が可能 このような対応についてどう考えますか。 4) 攻めの情報収集（チラシの配布） いじめの情報収集（早期発見）＋いじめの抑止効果 村長部局の対応係の必要性についてお聞きしたい。	村長
	(1) 信濃毎日新聞によると、県下19市のうち3歳児検診に吃音の検査項目がない5市があると報道されています。 国が作成した3歳児検診のガイドラインに項目はあるが、質問の義務化はされておらず各自治体の判断とされています。 国立障害者リハビリセンターの調査によると吃音の症状が出たことのある3歳児は8.9%にのぼるといいます。 吃音診療の専門家である富里周太・慶応大学医学部助教は会見で、多くは2歳から4歳に発症するため3歳児検診での早期発見が重要だと指摘しています。 村では、3歳児検診における吃音の検診項目はありますか。また、発見について、どのように対応されていますか。	健康福祉課長
	(2) また、保育園での吃音対応の取り組みは、いかがでしょうか。	子ども課長
	(3) 発見した場合の支援をどのようにされていますか。	健康福祉課長



令和 7 年 2 月 20 日

豊丘村議会議員 片桐 忠彦 様

豊丘村議会議員 平澤 恒雄 様

一般質問通告書

次の通り通告します。

No.1/2

質問事項	質問の要旨	質問相手
1、2027 年末 蛍光灯製造中止 の対応について	(1) 政府は、2023 年 10 月の「水銀に関する水俣条約」の第 5 回締約国会議を受けて、「水銀汚染防止法の政令」を改正し、蛍光灯の製造と輸出入を 2027 年末までに禁止することとした。ただし、今使っている蛍光灯の使用を禁止するものではなく、在庫品の販売も可能となっている。 一方、村は 2021 年度に「第 3 次豊丘村地球温暖化対策実行計画」を策定し、2026 年度までの 5 カ年計画で、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスを減らすべく、照明器具の LED 化を進めている。 ①今年度、小中学校施設や中学校グラウンド・林原多目的広場の照明や防犯灯の LED 化を行っている。村の施設 LED 化全体の進捗について伺う。	総務課長
	私が暮らす自治会では、2027 年末で蛍光灯が製造禁止になることを知り、昨年村の補助を得て集会所の照明を LED 化した。そのことを聞いた区では、区民会館の照明を LED 化するべく検討している。 ②村では自治会や区の施設の LED 化について、どのように把握しているか、「豊丘村集会施設建設事業等補助金」の適用についても伺う。	総務課長
	照明器具の LED 化は地球温暖化防止と水銀汚染防止の両面を含む重要なことと考える。 ③自治会や区の施設、法人や個人所有の施設の LED 化について、村が声をかけて進めることが必要と思うが、予算措置も含め見解を伺う。	村長
2、災害備蓄品の確保について	(1) 「豊丘を含む伊那谷地域は、風水害の心配はあるものの直下型地震は想定されない、全国でも希な安全地域だ」とする論説をたびたび聞く。しかし災害発生となれば避難所を開設しなければならない。 内閣府が公表している 2024 年 11 月の災害備蓄全国調査結果を見ると当村は、主食米 8,160 食、乳幼児液体ミルク 24 缶、水 21 600 本などとなっている。近隣町村に比べ控えめな数量だ。	

質問事項	質問の要旨	質問相手
3、マツタケ生産力の向上について	①村のホームページには「自らの安全は自ら守るという観点から、各家庭でも3日分（できれば1週間分）の食料を持出しできる形で備蓄してほしい」としている。これを踏まえての村の備蓄量なのか、村の備蓄基準と合わせて見解を伺う。	総務課長
	内閣府は能登半島地震の災害対応やスフィア基準などを踏まえ、2024年12月13日に「自治体向けの避難所に関する取り組み指針・ガイドラインの改定について」を出して、避難所における良好な生活環境の確保を求めている。スフィア基準は紛争や災害における人道支援の満たすべき基準を国際赤十字などが作ったもの。	
	②スフィア基準ではトイレは20人に1基（男女比1対3）、入浴施設は50人に1基、生活空間は1人3.5㎡などとしている。スフィア基準に対する見解と、当村の備蓄状況を伺う。	総務課長
	③政府はキッチンカー、トイレトレーラー、ランドリーカーについて、保有車両の事前登録を検討している。当村で保有することの見解を伺う。	村長
	（1）マツタケはふるさと納税を支える貴重な林産品である。2022年の全国生産量は35㌧、長野県は21㌧。そのうち飯田下伊那は10㌧生産しており、全国生産量の1/3にあたる。	
	①マツタケ生産量変化の長期的傾向を伺う。	産業振興課長
	喬木村では実行委員会が2月、信州大学農学部教授や県林業総合センター特産部部長を招き「マツタケ生産力向上シンポジウム」を行った。	
	②村内外から約100人が参加し、村長が後押しする挨拶をした。シンポジウムに対する見解を伺う。	産業振興課長
	③村内の山林で行う県林業総合センターのマツタケ生産試験の成果は、村に還元されているのか伺う。	産業振興課長
	村は松山を守るべく松枯れ対策をしている。 ④マツタケの豊作を期待するだけでなく、生産力の向上を図るべきと考えるが、見解を伺う。	村長

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様



豊丘村議会議員

唐澤克己

一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1 林業技術者の養成について	村では地域おこし協力隊の制度を利用して林業技術者の養成を計画しておられると聞いております。国が、森林環境税を本格的に導入し、森林経営管理制度を大々的に始めて林業の再生による自然環境面のテコ入れを企図している折、また、その事業が肝心の林業技術者不足で進展していない状況を踏まえるとき、村のこうした構想は、まことに時宜を得ていると考えます。そこで、村の林業技術者養成の構想が1日も早く軌道に乗ることを切に祈念し、質問いたします。 (1) 村に、林業を専業にしておられる方はどのくらいいるのか。また、年齢層はどうなっているのか。さらに、独立した事業者としてやっておられる方はどのくらいか。 (2) 村の林業技術者養成の構想を説明願いたい。 (3) この構想の現在までの進展状況と今後の見通しについてどのように考えておられるかお聞かせ願いたい。	産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長
2 介護事業者の状況について	国内では、在宅介護を支える事業者が、近年の物価高騰に伴うコスト増や人手不足等で経営難に陥り、倒産や廃業が相次いでいると聞きます。介護を必要とする時期はどなたにも訪れる可能性があり、そうした状況になっても、安心して自身を託せる人や事業者がいるかいないかは、その人の人生の幸不幸を分ける決定的な要素になります。それ故に、介護を必要とする方々や介護事業者が、安心して介護を依頼したり、介護を請け負ったりする状況が維持できることを切に祈願し、質問いたします。 (1) 村内に介護を必要とされる方は、およそどのくらいおられるか。また、その中で、施設に入所されておられる方と在宅で看護を受けておられる方の割合はどうなっているか。 (2) 昨今の物価高騰や人手不足等に伴い、村内の介護施設の事業者から村に支援の相談や要請等が寄せられているのかどうか。 (3) 介護事業に対して村で重要視している点をお聞きしたい。	健康福祉課長 健康福祉課長 健康福祉課長